

理事長トーク200回を迎えて

医療法人社団 健育会 理事長 竹川 節男



理事長トークが今回で200回となりました。2010年7月14日に第1回を掲載してから、早いもので9年目になります。200回を機会にこの9年間を振り返りたいと思います。

この9年の間に健育会グループは8病院・2クリニック・13介護施設・42介護事業所、ベッド数 約2,300床のグループへと成長しました。職員数は非常勤職員を含めると3,300名以上となりました。このように規模が大きくなればなるほど、経営者である私の想いを組織の隅々まで伝えるツールとして、理事長トークの重要度は増してきたように思います。各病院・施設では理事長トークを更新するたびに印刷して職員の集う場所に掲示を行ったりするなど、しっかりとグループ内に理事長トークを浸透させてくれているようで、私が現場に行った際に職員と直接話す時にも理事長トークのことが話題になり、職員の皆さんから感想をもらうこともあります。その度に私は、職員の皆さんに私の想いが届いていることを嬉しく思い、忙しいさなかにおいても職員の皆さんに伝えたいことを推敲し、理事長トークを更新してきた甲斐があったと感じています。

医療法人 健育会グループ

[ホーム](#) |
 [健育会グループについて](#) |
 [グループ施設](#) |
 [理事長トーク](#) |
 [教育・研修](#) |
 [社会貢献](#)

理事長トーク Vol.199

第13回 看護・リハビリテーション研



理事長トーク

<p>Vol.199 2019.3.12 第13回 看護・リハビリテーション研究会</p>	<p>Vol.198 2019.2.25 朝日新聞の終末期医療に関わる記事を読んで</p>	<p>Vol.197 2019.2.12 第13回 TQM活動発表セミナーを開催しました。</p>
<p>Vol.196 2019.1.29 「心・技・協」で風を起こします。</p>	<p>Vol.195 2019.1.15 今年は湘南慶育病院から年頭所感を発信しました。</p>	<p>Vol.194 2019.1.1 2019年 年頭所感</p>

この9年間の中で、大きく印象として残っている話題はやはり8年前の2011年3月11日に起きた東日本大震災です。健育会グループでは、宮城県石巻市の石巻港湾病院・ひまわり、福島県いわき市いわき湯本病院が被災し、石巻港湾病院・ひまわりに至っては、発災直後は連絡がとれていたものの、津波の被害を受けてからは連絡が途絶えた状態でした。健育会グループ本部では震災発生直後に「東北地方太平洋沖地震 災害対策本部」をいち早く立ち上げ、24時間体制で健育会グループの全ての病院・施設の患者さん・利用者・職員の安否情報の確認ならびに支援を行い、把握した情報とグループの動きを理事長トークを通じて発信し続けました。



その後、実際に理事長トークをご覧になった患者さんや職員のご家族から「理事長から直近の情報が号外として何度も発信され、安否を確認することができた」「職員として働く家族と連絡が取れなかったが、状況が分かり安心した」などのお声を頂きました。また職員からは理事長トークを読んでグループの動きを把握したことで、グループ内での助け合いの気運や士気が高まったとの話を聞き、嬉しく感じたことを昨日のこのように覚えています。



当時は電話での連絡が困難な状況の中、患者さん・ご利用者を預けてくださっているご家族、そして職員の家族など多くの方に向け、早く最新の情報をお届けしようと必死で行ったことですが、振り返ってみると私はその時、「適時適切な情報発信」や「思いや考えをしっかりと伝えること」の大切さを改めて身を以て知ったのでした。その学びは現在においても生き続けています。





また、大きなトピックスとして最も印象深いのは2013年のvol.62でご報告した天皇・皇后両陛下のケアポート板橋への行幸啓です。これはEPAに基づいてフィリピンやインドネシアから看護師・介護福祉士を受け入れていることなどが評価されて実現したことでした。この外国人看護師・介護福祉士候補を受け入れる取り組みは、我々のグループでは政府より前に先駆けて取り組みを始めたもので、現在ではEPAや中国人看護師の受け入れ等、外国人の看護師・介護福祉士を受け入れる動きがグループ全体で広がってきています。天皇皇后陛下の公式訪問は、我々が信念を持って行動してきた結果が評価されたものであり、とても誇りに思っています。



ドニア共和国・健育会 研修協力に関する連携協定 調印式
 ing Ceremony between Macedonia and Iku-Kai



その他、TQM活動発表セミナーや看護・リハビリテーション研究会等の感想、新病院・施設の話、マリンスポーツクラブなどグループの動きや、慶應義塾大学SFCで行った授業の様子や規制改革会議 医療ワーキンググループの内容など私の活動のこと、時には日々のニュースを受けて考えたこと等、本当に様々な情報を理事長トークでタイムリーに発信してきました。

特に2017年には大泉学園複合施設や湘南慶育病院を開院し、新しい職員をたくさん迎え入れていますので、理事長トークで発信するメッセージについても、その方達にもわかりやすいものになるよう配慮してきました。



健育会グループは今年66周年を迎え、4年後には記念すべき70周年を迎えます。そのような中、現在グループの中には、厳しい環境に立たされている病院・施設もあります。私はこのような時こそ、グループで心を一にししていくことが大切だと感じています。

今後も私が現場に直接足を運び、みなさんを激励する機会も多く設けていきたいと考えていますし、皆さんへのメッセージをこの理事長トークを通じてしっかりと発信していきたいと考えています。